

2021/07/12 (月)

朝の礼拝

聖書 ガラテヤの信徒への手紙3章28,29節 (新約聖書347頁)

そこではもはや、ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由な身分の者もなく、男も女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです。あなたがたは、もしキリストのものだとするなら、とりもなおさず、アブラハムの子孫であり、約束による相続人です。

### パートナーシップ

オリンピックは本当に開かれるのでしょうか。ナショナルフラッグの下で競い合う意味とは何でしょうか。例えば世界の経済は Google, Apple, Facebook, Amazon, Microsoft など多国籍企業が席卷し、すでに国境はありません。そして地球温暖化による異常気象は国境を越えた人類共通の深刻な課題です。もう多くの分野で国単位の勝者敗者はありません。ひとり一人が国境を越えたパートナーシップの時代です。

それを最も象徴しているのがCOVID-19によるパンデミックです。パンデミックは「世界的大流行」などに訳されますが、原語では「全ての」と「人々」を合わせた言葉です。まさに国、人種、宗教を超えた全ての人々が共に向き合っているという意味です。そこには健常者も障害者もなく、老若男女、LGBTQの違いもありません。

今日の聖書に「キリスト・イエスにおいて一つ」「もしキリストのものだとするなら」とありました。それはどこに属しているとか、どれだけ能力に違いがあるかではなく、神様は足りないところも欠点もある私たちひとり一人の存在を愛している、だからイエスに信頼して

あなたがたも互いに愛し、励まし合いなさいと言っているのです。

今回のオリンピック、新たに柔道、卓球、競泳、陸上などに男女混合の種目が誕生しました。また史上初めてLGBTQの選手も参加を認められています。オンリーワンで、パートナーの関係には国境、人種、ジェンダー格差などありません。だから地球温暖化で豪雨や異常な高温と火災に襲われ、パンデミックにある私たちは互いにパートナーとして歩める時にいるのです。

(しばらく黙祷しましょう)

すべての人を愛し、励まされる主よ。あなたはイエスの生涯を通して私たちが赦され愛されていることを教えて下さいました。どうか国、人種、宗教、ジェンダーなどの違いを超えて、共に困難に向き合い、互いに愛し励まし合い、パートナーとして歩いていくことができますように。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、安全で健康な学校生活を守り、よき学びの時をお与えください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン